

会議議事録

会議の名称	令和7年度 第3回 玉野市子ども・子育て会議
開催日時	令和7（2025）年11月27日（木）14時00分～16時10分
開催場所	玉野市すこやかセンター
会議次第	<p>1 開会 2 あいさつ 3 議事</p> <p>（1）玉野市子ども・若者計画（仮称）素案について</p> <p>① 現状分析から読み取れる本市の課題 ② 第4章 子ども・若者施策の推進に関する基本的な方針 ③ 第5章 子ども・若者施策の展開（基本施策1～8、基本施策9～16）</p> <p>（2）アンケート結果に関する他自治体との比較</p> <p>4 その他</p> <p>（1）今後のスケジュールについて 第4回：2月19日（木）14時～16時 場所：玉野市消防本部</p> <p>5 閉会</p>
配付資料	<p>資料1 玉野市子ども・若者計画 素案 資料2 アンケート結果に関する他自治体との比較 施策体系 次第、委員名簿、配席表</p>
その他	

議事内容	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・留意事項について ・配付資料確認
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・出席者確認
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・議事（1）玉野市こども・若者計画（仮称）素案について ①現状分析から読み取れる本市の課題について、事務局から説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 47～49 ページ説明
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・このような概念の過程、目標の概念あるいはワードにして設定することでよいか。もっとこんな考えもあるのではないかという意見やここに盛り込まれておらず、アンケートにも現れていないが、日頃から感じている目標にしてもらいたいことなど、気付いた点があれば伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・47 ページ2番の2番目にある一時預かりの複数登録について、今年4月からは面接は必要だが、いろいろな園を利用できるようになっている。 ・また、こども誰でも通園制度が今年から始まった。しかし、満3歳の誕生日までしか使えないで、4月生まれの子は、4月に満3歳を迎えることが気になっている。県内の都市部には、満3歳になれば入れる幼稚園があるが、玉野市にはないので、4月生まれの子は不利になり、一時保育しか利用できない。可能であれば、玉野市では幼稚園に入るまで利用できればありがたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日、教育委員会の担当が欠席しています。そのようなご意見があったことをお伝えます。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・こども誰でも通園制度には隙間があるという気付きだった。 ・ほかにあれば伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・こども誰でも通園制度には、隙間があることが課題として出ていたことを思い出した。 ・ばく大なアンケートや資料では難しかったので、まとめてくれて見やすくなつた。具体的になると、いろいろな課題も見つかってくると思う。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、②第4章子ども・若者施策の推進に関する基本的な方針について、事務局から説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 50～51 ページ説明
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後4年間展開していく施策の軸になる概念の説明だった。表現や中身など、気付いたことがあれば伺いたい。 ・もし修正がなければ、このまま記載されるということか。この後、少し期間を置くことはできるか。

議事内容	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の会議でのご意見等を踏まえて、本文などを修正し、年末年始にかけてパブリックコメントを実施します。市民に広くお示しして、ご意見があれば修正します。来年2月に開催される第4回の会議までに、文言の修正ができれば、それが完成になります。 ・持ち帰って気付いたことなどがあれば、12月くらいまでにご意見をいただければ、そちらも反映したものでパブリックコメントにかけることができます。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントには、各委員も市民の一人として、意見を書くことができるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・委員として直接事務局へ連絡という形でも、一市民としてパブリックコメントにご意見を書く形もできます。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・②について、特になければ、③第5章子ども・若者施策の展開 基本施策1～8について、事務局から説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 52～64ページ説明
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標1、2、3の説明だった。各委員の日頃の活動の中で気にかかること、どういうことかというのがあると思うので、忌たんのない意見等を伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校校長として一番気になるのは、学びの場だ。基本施策7について、全体的には、学校教育は今の施策を継続して充実させるということだと思う。記載されている内容は、現場では既にがんばっているところで、児童や保護者が安心して、学校に行って楽しい、困ったことがあったら先生に遠慮なく相談できるという環境づくりにより一層努力していかないといけないと思う。 ・基本施策7の文章に「安全、安心で質の高い教育環境を整備し」とあるが、取組名③の取組内容を見ると、教育環境よりも内容の充実のように思う。環境の充実というと、例えば小学校では、特別教室の空調設備が整えられていない場所がほとんどだ。今年6月から9月はとても暑く、エアコンのない理科室や家庭科室、図工室、音楽室での学習は子どもたちにとってとても危険だったため、エアコンのある通常教室で授業せざるを得なかった。理科室で実験したい授業も、理科室が使えないため、カリキュラムを組み替えて通常教室でできることをすることもあった。築港小学校では、ここ2、3年、5つある遊具で使えるのは3つだ。予算の関係で、新しくなる計画もできない。各校、充実した環境で子どもたちにしっかり運動や学習をさせたいが、できにくい。③の取組内容に、環境の面を書いてもらいたい。予算の関係で難しい面があるとは思うが、難しいからしないのではなく、環境を充実させる具体的な内容をぜひ書いてもらいたいと思う。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の意見の通り、昨今の地球環境を考えると、環境を整えないと気持ちも心も出せない状況なので、具体的な環境の整備は落としてはならないところだと思われる。こういった点を書き加え、具体的に施策につながるような努力を市として行うということについては、どうなのか。

議事内容	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境の整備と聞くと、通常ハード面と思われますが、こちらにはソフト面の事業しかありません。どこまで具体的に書けるかはありますが、最低限目指す方向性を出せないか、何らかの形で触れることはできないか、担当課に確認します。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ざっと読むと、居場所づくりなど、場所を設定するものの提案が散見するが、今あるものをより安全に、快適なものにしていくことの提案が全体を通して少なかったと思う。今の提案をもとに、ほかの取組も見直してみることはあってもよいと感じた。 ほかにあれば伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 基本施策①の取組内容には、公式SNSやアプリがあるが、アンケート結果では、見ている人が少なかった。④もそうだが、市のホームページなど、若い人は市の関係のものを余り見ていない。それなのに、それらを頼りに発信や啓発活動を推進することは、どこの層に訴えられるのかなと思った。 何か所か「関連機関と連携し」というのがあるが、何をどこに聞いて、どう改善されていくのかと毎回思う。 今、若い人の自殺やひきこもりが増えている。その対策として、毎年関連機関と連携して、子どもたちに訴えるなどしていると思うが、深刻な問題だ。一つの例として、中高生の若いうちに、薬物依存症やドラッグに関するリアルな体験や話を聞く機会が今後必要なのかなと思う。海外に住む娘によると、そういう人の話を教育として実際に聞く機会があるそうだ。 性に関するても、3人の娘が小・中・高校と通う中で、性教育が少し心配だと思ってみていた。自分で情報を集める時代だと思うが、学校から聞いてくることやもらってくるものは、大事な部分が抜けている。人と人が好きになって、その後は急に子どもの話となり、大事な部分を分からずにしている。そのため、現実的な大事な部分を変な知識で埋め合わせているみたいな感じだ。そういうことを教えるのは親の仕事かもしれないが、気になると感じていた。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> 「関連機関で」で解決を意図している表現がいくつか見られたことは、私もそう感じた。関連機関は具体的に何か、どこか、関連機関と関係し合うのはどのタイミングなのか、事件が起きたときに具体的にどういう対応する関連機関なのかなど、具体性がここには書き込まれていないが、そういうプランの筋があるのか、それとも書き込んでいるだけで、その後は今後ということなのかは気になった。 具体的な子どもの臨床的な出来事や問題、被害などに関連する問題も提案してもらった。 委員の意見について、意見や提案など何かあれば伺いたい。

議事内容	
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「関係機関」もそうだが、取組内容に「進めます」「推進します」「図ります」という形がある。素案の取組内容を実行に移すアクションプランが存在するのかなと思った。アクションプランの有無に関わらず、数値化できるものは数値化した方がよい。どのくらい推進するのか、何にどうするのか、数字が見えないので、目指すところの確実性が曖昧な感じがする。あくまでも取組で、ここから更に次のアクションプランでうたわれるということであれば、それでよいとは思うが、気になった。 基本施策8⑬の取組内容5番にゲストティーチャーのことがある。私もここ何年か、小学2年生の生活科の授業でゲストティーチャーをしており、今年は5校行った。最初の1、2年は、岡山県教育委員会の取組で行っていたが、その後は学校の先生の口コミ的なもので行っている。小学2年生の先生が横につながっており、今年は初めての学校からも声が掛かった。その中で田井小学校は、2年生が60人ほどいて賑やかな感じだが、後閑小学校は1、2、3年生合わせて6人など、各学校で雰囲気が違う。学ぶ児童の数が多少影響あるのではないかと何となく感じている。 集団で活動する中で育まれる人間性があると思うが、地域差が生まれるのは仕方ないにしても、それを埋める一助になるのが企業や地域のボランティアが学校へ行き、先生でも親でも友達でもない第三者と関わっていく機会を増やすことで、そこに意味のあることだと思ってやっている。 5番では「地域のボランティアがゲストティーチャーとなり」とあるが、私は玉野市から要請を受けたことがなく、直接学校から依頼されて行っている。玉野市として、ボランティアの派遣がちゃんとできるよう、仕組みづくりまでほしいと思った。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> 施策の表現は具体性に欠けており、玉虫色のような表現になっている感じをしている。実際の自分の生活に、どんな形でいつ戻ってくるのかという具体的な確信や安心、期待に結び付きにくい表現になっている。せめて、この後にアクションプランを作るという紹介があり、いつまでにいくつのものを誰に対して、このようなパーセンテージまではいつまでに実施するつもりだというような、市の誠意が伝わってくるようなプランがあってこそ、こども・若者計画についていくと思う。そういう提案だと思った。 また、委員のゲストティーチャーの経験談から、玉野市が具体的に動かしているのか、企画しているのかが気になった。第3次計画でも話題になったところだが、ゲストティーチャーや地域の人々、大人、企業に加わってもらえるようお膳立てをしていくことは、子どもの数がとても偏った今の教育現場、子どもの教育を受ける機会がアンバランスになっているところを埋めて豊かにしていくものとして活用できるのではないか。そこをもう少し重点的に考えてもいいのではないか。それは提案もあるし、学校現場の危機感にも応えるものであるのではないかと思う。

議事内容	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの委員のご意見について、ご説明します。 ・基本施策①で市の広報物を見ている人が少ないというのは、ご指摘の通りだと思います。玉野市としては、広報ツールに広報紙やホームページは欠かせないと思っており、基本的な情報はそこでお知らせできるようにしておく必要があると考えています。若い人が見ていないという点については、アンケート結果で男性はYouTubeを見ているが、女性はInstagramを見ているという傾向が分かりました。そこで、SNSを活用していくことについて、今年地域おこし協力隊1名を追加でお願いしました。広報に特化した地域おこし協力隊です。動画配信を含め、若い世代にもきちんと届くような工夫をお願いし、活用したいと考えています。 ・子育て世帯に関しては、子どもが生まれたら「母子モ」という子育てアプリを必ず登録してくださいとお願いしています。今、2、3歳くらいまでの集団健診を受けた人は、基本登録していると思っているので、アプリを上手に活用したいと考えています。見てもらえるターゲットを踏まえて、どうPRしていくかを考える必要があると思っています。 ・関係機関がどこかという点については、事業によって関わる人が幅広く、警察や弁護士、医療機関、学校など多岐にわたります。そのため、その都度全部書くのは、スペースの都合もあって書ききれないため、このような表現になってしまいます。委員からのご意見にもありましたが、この後のフォローアップ、この計画を作ったので今後それぞれの項目について、こういう取組をしていくというご説明をしていく中で、こういった機関とこういうつながりを持ちながらやっていることをお示しできたらよいと考えています。 ・委員のご質問にあったアクションプランについては、素案には、施策としてこういう方針ですということでこのよう書き方になっています。第3期計画の中にも、数値目標の項目がありました。現在それを転記できていないのですが、別途あるので、分かるような形でお示しできたらよいと考えています。 ・ボランティア派遣の仕組みづくりについては、教育委員会、学校のチャレンジワークを含め、地域の協働ボランティアなどいろんな形で関わる人がいます。その事業の中で、どういった形の仕組みにすると参加しやすくなるのかというのは、教育委員会に伝えておきたいと思います。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊は1人か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・玉野市は、どちらかといえば観光振興、移住定住の役割を持つ人を募集し、現在も2名が活動しています。それに加えて、新たに広報、PRを担ってくれる1名を募集し、9月か10月頃から活動してもらっています。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・玉野市としては、広報紙は欠かせないが、見るのが現状だという意見だった。地域おこし協力隊は、広報紙を見るような動機付けや仕組みを作る人か。

議事内容	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 新しい1名は、広報に直接関わっています。 玉野市には公式LINEとYouTube、Instagramがありますが、見てもらえているとはいえない状況です。地域おこし協力隊に加わった1名は動画が得意だと聞いていているので、もう少し工夫した発信の仕方や興味を持ってもらえるような内容にしてもらう仕事をお願いしています。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> たくさんのエネルギーをかけて議論して、国の流れに沿った施策を作り、具体的な施策を、意味を持って位置付けるプランを作るわけだから、努力と活動が具体的に市民に響くものにしないといけない。そのつなぎ役、仕掛けづくりが大事で、1名の地域おこし協力隊にお願いするというのは大変かもしれない。多様な人の発想力やプラン力が必要だと思う。今日の委員の意見や提案でもあると思うので、ぜひ取り込むことを検討してもらいたい。 ほかにあれば伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 文言で気になることがある。56ページ⑯1番にある「学校適正化」という言葉は、使われないとと思う。正しい表現がよいと思った。違和感を覚えた。 62ページ㉕1番「わかば教室」は、正しくは「適応指導教室」ではないかと思う。 委員の発言にもあった企業をつなぐことについて、教育委員会にキャリア教育人材バンクがあり、企業に登録をお願いしている。中学生がチャレンジワーク等でお世話になれるように、広げるようにしているが、つながりが広まらず、伝わっていないことも多々ある。委員が小学校へ行っていることも初めて知った。それだったら、中学校にも来てもらいたいと思った。 教育委員会の中もそうだが、いろいろな課が関わっていても伝わっていないということが正直ある。いろいろな課が関わっているので、内容も担当課で統一して、なおかつ実務するところまでわかりやすく伝えてもらいたいと思った。関係機関もそうだが、いろんな関係機関が場面によって変わってくると思うので、我々が担当する関係機関はどうだとなる。せっかく作るのなら、いろいろな課が担当するだけでなく、担当した上で生かしていくものを作ってほしいなと思っている。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> 学校適正化という言葉についての意見があった。言葉の後にある気持ちや概念は、使いようによってはゆがんだものになる。言葉の指摘はありがたい。どういう言葉でいいべきなのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「適正規模・適正配置」となっているが、今は「再編」という言葉で動いているので、一番マッチしている言葉は相談してもらえるとよい。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> 適切な修正を願いたい。わかば教室も適応指導教室にする。 ボランティアになってくれる人や企業の情報が伝わっていなかった。もったいない情報の流れ方しかしていないのを補うような仕掛けは必要だ。

議事内容	
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関については、委員からも出てきた。ここには全部書けないという事務局の説明だったが、※印を付けて「※何と何など」といったような表現があると、この関係機関は、こういった事柄の方向性の関係機関だと類推できるかもしれないと思った。具体が見えることによって、読む市民も安心する、市がこの施策をやろうとしていると信じられることにもつながると思うので、スペースが少ないので関係機関で済ますのではなく、もう少し吟味する価値があると思った。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本施策7④と⑤を見ると、改めて背筋が伸びる、気の引き締まる思いがする。 ・基本施策2⑧について、自殺は全体の総数、大人の数は減っているが、子どもの数が減っているにもかかわらず、子どもの自殺者が年々増えているという危機的な状況だという認識でよいと思う。そういった中で、子どものために何ができるのかというと、子どもに自殺予防に関する教育、教えることが必要だと考えている。⑧の担当課は健康医療課のみの記載となっているが、子どもや若者の自殺予防のためには、いろいろと教えていかないといけないことがたくさんある。もう少しいえば、自殺予防のみに特化する。 ・玉野市自殺対策基本計画を見ると、ゲートキーパーになる、SOSを出すといったことが書いてあるが、具体的に教えてあげないといけないと思う。加えて、心の健康というものをちゃんと教えないといけない。いろんなことで心の健康は上がることもある下がることもあることを、学齢期から教えていいのではないかと思う。学校で教えるべき指導要領等の中ではとても少ないと感じている。⑧には計画だけでなく、子どもの心の健康づくりに関する事、自殺予防に関する事を教育していくことがあるといいなと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに、教育にある。校長は、岡山県の研修や玉野市教育委員会の研修を受けている。 ・小学校なので自殺、自死という言葉はないが、困ったらSOSを出していい、友達からSOSを受けたらどうしたらよいかをこう指導していきましょうというのが岡山県の施策に組まれており、必ず各学校の5、6年生、又は6年生に対して行うようになっている。委員からあったように、⑧に教育も入るべきだと思った。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課に入った方がよいということか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容に教育も入れて、担当課に学校教育課があってもよいと思った。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・性教育に関する事も、それに並ぶような対応が必要かと思っている。加害者の問題は社会的に取り上げられるが、被害者の子ども、やすやすと被害の相手になってしまう子どもたちへの教育も必要なのではないかということを付け加えたい。 ・議論があるとは思うが、続いて③の子ども・若者施策の展開（基本施策9～16）について、説明願いたい。

議事内容	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 65~76 ページ説明 ・松岡委員のご意見について
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・松岡委員の意見は、目を通してもらいたい。 ・特に新しく入った取組について、意見を伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所として、子ども食堂に取り組んでいる。基本施策16の居場所については、既存の建物を使ってという話があったが、私以外にも、いろいろな地域で子どもの居場所や子ども食堂のようなものをやってみたいと思う人は結構いる。しかし、どこでできるのかがネックになっている部分がある。 ・8月に玉野市生涯学習センター（ミネルバ）で子ども食堂を開いたとき、食事を調理実習室で作り、飲食コーナーで食べる予定で始めたが、環境が厳しかった。クーラーが効いていない、窓が全部開いていて、外の空気を入れるということだったようで、扇風機を回しているだけではとても暑かった。宿題を持ってきて皆でやろうという企画もあったので、熱中症などの危険を考え、急きょエアコンのある部屋を借りた。食事も、子どもたちに涼しい調理実習室に来てもらって食べた。3月に実施した際は、気候がよかつたので気付かなかった。以前の館長は「せっかくの建物だから、いろいろな活用をしてほしい、使ってもらいたい」と話していたが、ここまで暑いと厳しいと思った。これから玉野市は、建物の環境整備を整えていくのかどうか。生涯学習センターはせっかくの場所なので、使えたらよいと思うが、ハードルが高かった。 ・学校の再編により、使われない学校が出て来ると思うが、その再利用も、長い目で見た計画があるのか気になった。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂を経営している経験からの発言だった。安全とはいえない環境で食事をしてもらうのは、信じられないような状況だったと思う。気候変動は悪化するけれども、改善していくことはないと思うので、状況に応じた対応を取らないといけない大きなものだ。小学校もそうだ。基本目標4 基本施策11に従来よくいわれているような文言がさらっと並んでいるが、安全、安心なまちづくりに関わってくる視点だと思うので、ここはもう少し掘り下げが必要なのかもしれない気がした。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・安全、安心な視点で記載するのか、居場所づくりで考えるのか、両方の側面があると思います。ご指摘の通り、玉野市は厳しい財政状況を理由に、学校を含めた施設整備が十分されてこなかったことがあります。今日の会場も、空調の調子が悪いのに更新できていないのが実情です。76ページの⑧子ども・若者が集う交流の場、居場所づくりは、居場所づくりを視点としてきちんと考え方を入れています。特に2番にあるように、学校以外の施設についての再編や使わなくなった建物を意味する「用途廃止施設」の活用をしようという話になつたら、必ず居場所として使えるようにしようという視点を入れました。

議事内容	
事務局（続き）	<ul style="list-style-type: none"> 個別の施設の設備に関して書くのは難しいのですが、今後、取組がいろいろな地域であると思うので、居場所づくりについてもきちんと考え方ようと書いています。ご理解いただければと思います。
清板委員長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> 居場所づくりを市が打ち立てて行うのはもちろん必要だと思うが、使える場所があれば、そこを活用して自分たちの活動がしたい、子どもたちのために開きたいと思う人がどこにどういうふうに訪ねて行けばよいのか、また、そのときに市としてどこまでサポートできるかといった視点も具体的に盛り込まれたらよいかもしれない。居場所づくりと安全、安心なまちづくりという概念の入口がばらばらで、それぞれ玉虫色の表現がされているので、市民が具体的に活用しようと思ったら、どこにどういう提案を持って行ったらよいか分からぬ感じがする。 委員の提案に、子ども食堂をしたいと思っている人はたくさんいる、そして、学校の再編により使われなくなった学校などは使えるのかという具体的な質問があった。やりたいと思っている人が、施策の中のどこの部分を生かして活用できるのかが分かるような提示も必要だと思った。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 居場所といつても、地域子ども楽級「おさらい会」をはじめ、いろいろな形の居場所づくりがあります。地区社協の地域の福祉の集まりもあります。居場所という概念はありますが、切り口としては、例えば子ども食堂をしたいのであれば、こどもみらい課が担当になっているので、ご相談できると思います。福祉的な集まりなら、福祉関係の部署になります。今回、どこまで細かく書くかは難しいのですが、居場所で考えていることがあれば、担当課の一番上のことこどもみらい課にご相談いただければと思っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 先ほどミネルバの空調の話が出て、居場所で考えるのか、安全、安心で考えるのかというのがあったが、安全、安心にも加えてもらいたいと思っている。基本施策11⑤には、保育園や幼稚園、こども園のことが書いてあるので、小学校よりもひどい環境なのかと思った。ここに教育・保育施設だけでなく、小・中・高校の環境やミネルバなどの居場所の環境整備も書いてもらいたい。 ミネルバは子ども食堂に限らず、幼児や青年など、いろいろな市民の集える場所であるべきだと思うので、その居場所の施設の整備、安全で安心して使える施設の整備ということで加えてもらいたい。居場所、安全、安心と分けるのではなく、ここに盛り込まれてもよいのではないかと思った。担当課も就学前教育課だけでなく、教育総務課やミネルバの担当課も盛り込んでもらいたいと思う。
清板委員長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> 基本施策があちらにもあり、こちらにもあるという重なり方をする。同じことをするのだが、こちらの概念に当てはまっているのでこちらに書き、あちらの概念にも当てはまるのであちらにも書くようにしてはどうか。文章のボリュームが増えると思うが、そのようなことをしてはいけないのか。

議事内容	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> その通りだと思います。この考え方の切り口は一つしかないというのではありえないでの、いろいろな側面があると思います。例えば⑥は再掲になっているのに、ほかはできないのかという話になります。それぞれの項目について、所管の担当課と協議して、こういった取組に加わってもらいたいというようにしていきたいと思います。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> 担当課がたくさん並ぶと、関連課はここだということが読む市民にも分かってくると思うし、施策する側も、関連部署が明解になって心強いと思う。表現の仕方によって、施策の意味が分かりやすくなることもあると思う。 ほかにあれば伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果がどこまで反映されているのかと思いながら、聞いていた。居場所がほしいということは、前回の会議でも話題に上った。しかし、施策の体系を見ると、最後の基本施策 16 にある。6つある基本目標の順番は、意図があると思うが、この順番で本当によいのか見直す必要があるのかなと思った。 取組は既にできていることと、これからのが混在しているので、なかなか分かりにくいというのが率直な感想だ。 素案を読んでいくと、いじめや自殺、虐待の話が出てくる。子どもたちの夢を大きく育てる取組が書かれていないと思った。玉野の子どもたちを大きく育てていくことを目標とした取組をどこかに入れて良いのではないか。
清板委員長 (進行)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの回答に、そういったものがなかったわけではない気がする。事務局としてはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果の反映については、アンケート結果の中から課題を整理しています。もともと国の計画として、ヤングケアラーなど、これまでなかった視点を入れようというのがあったので、素案に入れています。そして、アンケート結果では経済的な支援の声が大きかったことで、そういったことを加えました。併せて玉野市の特徴として、出産する機能がないということで、産前産後のケアができるような体制を整えようということを入れています。さらに、居場所がないということで居場所や遊び場も加えたつもりです。 施策体系の並びについては、基本目標 1 は全体像として、こどもまんなか社会という国が進めている理念、考え方を書き、どう資するかということで基本施策 1、2 を書いています。子どもの成長段階として、まず産まれるところから育てる、教育という流れで基本目標 2、3 と来て、その中で発生する課題として、虐待や配慮が必要なこどもへの対応ということで基本目標 4 を入れ、特に追加で基本目標 5 として、新しく出ている貧困対策やヤングケアラーについて書いています。しかし、こちらの順番の方が分かりやすいというご意見があれば、教えていただきたいと思います。そういうたった過程を踏まえて、こども・若者が今度玉野市を支えていくということで、若者の活躍を作る場を新しく入れました。

議事内容	
事務局（続き）	<ul style="list-style-type: none"> ・不十分だというご意見もあるかと思いますが、最後の基本施策 16 で地元への愛着やいろいろ活躍できる環境づくりを書いています。 ・この中では、すぐに夢を持って何かできるというような施策にはなっていないかもしれません、今後取り組む中で、こんな事業や施策ができればもっと子どもが夢持てるのではないかというご意見があれば、いただきたいと思います。
清板委員長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の並びについては、前半は発達段階に沿って、後半は逸脱や貧困など困っている人、支援の必要な人に向けて、最後は子どもから若者に向けて全体像に支援するもののような意図で並んでいるということだ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・分かった。
清板委員長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の最後の子どもに向けて夢の大切さや夢を抱くことについての提案や仕組みが手薄かなという指摘は、そうだなと思った。ほかの委員に伺いたい。何か計画の中に入れる形、視点、アイデアがあれば提案してもらいたい。 ・では、宿題として、市でも対応してもらえたと思う。最終版のときに、その宿題が何らかの形で載っているとよい気がする。その次の計画にということなら、大きな宿題を背負う意味で、緊張してこの問題も考えていくことになると思う。 ・ほかにあれば伺いたい。初めての参加だった吉田委員に感想を伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてなので分からないことがあります、傍聴くらいの感じだ。何かあれば、この場で意見を言いたいと思う。 ・気になったのは、基本施策 11⑯についてだ。今、猪が降りてきて、街なかに溶け込みつつある状況だ。いつ子どもが被害に遭うか分からないという不安を抱いている人がいると聞いている。害獣という観点も取り入れながら、子どもが安心して暮らせるようなまちが必要ではないかと思う。
清板委員長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに害獣の問題もそうだ。岡山県には熊が出ていないようだが、広島県や兵庫県に出ているということは、当然入ってくるだろう。猪などは、そこにある問題で、今までのようなレベルでの危機意識でよいかといえば、そうではなくなってくることが絶対あると思うので、そういう視点も入ることは考えられるかと思う。また、修正を検討してもらいたい。 ・続いて、議事（2）アンケート結果に関する他自治体との比較について、事務局から説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2説明
清板委員長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・これは、プランを練っていくときに他市との比較も視点に入れながら考えることができるのでないかという意図だったと思う。後になったが、やむを得ないと思う。こういった情報を生かして提案することがあってもよいと思う。 ・何か質問などあれば伺いたい。 ・なければこれで議事を終了する。

議事内容	
事務局	・その他として、何かありましたらお願ひします。 ・今後のスケジュールについて
進賀副委員長	・挨拶
事務局	・閉会

以上